

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）東南海地震
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
相川の川口から、約 30cm ぐらい、海水が盛り上がり逆流してきた。(P30) 小規模ながら津波の被害もあった。(P182)
(2) 学校内や地域の被害の状況
防火用水の水がすごく流れ出した。(P29) 終戦を前後しての地震で地盤沈下がひどくなり、樋門が損傷したため、直接塩害を こおむる水田が多くなった。(P188)
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
学校の帰路、突然地面がゆれ出し、道路にへばりついた。家に帰ると、家中大混乱 であった。(P30)
(5) 教訓など
戦局の不利に加えた被害の大きさが、住民を不安に落とし入れることを恐れ、報道管 制が敷かれ、その実態は知らされなかった。(P29、183)
(6) その他

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
9 月 25 日、正午ごろから風雨が強まり、午後 5 時ごろから 9 時ごろにかけて最も強くなった。（P189）
（2）学校内や地域の被害の状況
満潮と重なって、午後 7 時ごろ、海岸、相川・天神川の堤防が 11 か所にわたって決壊し、田畑の冠水や住家浸水の被害が出た。 現在の紀勢線の東側は一面水びたしとなり、すでに新設されていた国道 23 号線は不通となって、約 1 か月にわたって旧街道が代わって使われたので、その間の混乱はすさまじかった。（P189～190）
（被害の状況）
家屋全壊 4 戸、家屋半壊 2 戸、床上浸水 95 戸、床下浸水 75 戸、堤防決壊 11 か所（延長 280 メートル）、堤防半壊 2 か所（延長 360 メートル）、田畑冠水 1,300 反、稲倒伏 560 反、橋梁流失 1 か所、道路決壊 3 か所（50 メートル）
（3）復旧の様子
復旧工事はただちに着手され、相川上流、天神川の 6 か所の決壊箇所は地元民約 300 人も参加した。（P191）
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 21 年（1946 年）南海地震
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
地区東側の水田地帯が、かなりの地盤沈下をきたした。 後の昭和 28 年の 13 号台風でこの地区が大被害を受ける原因の一つとなった。 (P182～183)
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 20 年（1945 年）三河地震
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
地区東側の水田地帯が、かなりの地盤沈下をきたした。 後の昭和 28 年の 13 号台風でこの地区が大被害を受ける原因の一つとなった。 (P182～183)
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
津地方も大きな被害を受けたが、死者はなく、台風の規模とは逆に、13 号台風より被害は少なかった。これは、13 号台風の災害復旧工事により、堅固な堤防が作られていたからである。(P191)
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他